

川柳マガジンクラブ東京句会 6月

平成21年6月14(日)

巢鴨地蔵通り商店街吟行の後、駒込学園にて句会

参加19名

藤原栄子、関 玉枝、河野桃葉、土江裕美、  
棚瀬くんじ、星野睦悟朗、山田こしい、ヨモギ、  
高田以呂波、加藤品子、村田倫也、水野絵扇、  
左道 正、秋山和子、小倉利江、甲野竜雄、  
たむらあきこ、植竹団扇、松橋帆波

※たむらあきこ様よりご芳志を頂きました。

東京句会初めての「吟行」は巢鴨地蔵通り商店街にて行いました。心配された雨も降らず、暑い中でしたが19名のご参加を頂きました。これも、東京句会の普段の行いの良さ(?)の賜物でしょと歌山県から、たむらあきこさんがご参加くださいました。

地蔵通りは四の付く日のご縁日で、商店街は庚申塚まで両側に店が揃い、普段の三倍位の人出で賑わっております。

とげ抜き地蔵で有名な高岩寺で記念撮影の後、庚申塚まで歩いて高岩寺へ戻ってるというコースをとり。



賑やかな商店街を散策した後、駅前「寿し常」

さんで昼食をとりました。食後、駒込学園へ戻って、句評会と囀目吟の選考・披講の予定でしたが、食事の時間が押してしまい、急遽句評会に関しては、帆波の鑑賞・句評文を解説し、質

問を受けるといふ形で切り上げる事といたしました。



囀目吟は、関 玉枝さんと、たむらあきこさんの二人選。  
出句数は五句までといたしました。

囀目吟 関 玉枝選

「前抜き」

かあさんの代りと言って膝を撫で 絵扇

年代は言わずと知れる地蔵前 品子

デパートはさびれ巢鴨が百貨売る 睦悟朗

ご利益雨を一時止めている 以呂波

巢鴨製ゴムファッションが人気呼び 品子

シャッターを下ろし縁日拒絶する こしい

「佳作」

とげ抜きで土産だけ買う無信心 利江

ばあちゃんの原宿ヤングより元気 利江

繋ぐ手が欲しい下町だんご坂 桃葉

ヒーローのようだブラジャーまで赤い 帆波

四の日は巢鴨銀座で手をつなぎ ヨモギ

とげぬきの吟行忘れ土産買い 栄子

巢鴨なら元気幸せ揃います ヨモギ

珍味かな逆に読んでた「のしいか」屋 以呂波

赤色にご利益求め下着買う ヨモギ

赤パンツずらりLL Sがない 正

「秀作」

とげ抜き市の市から拾う江戸情緒 利江

心の棘を抜いてルンルン 倫也

巢鴨発天国行きを予約する 倫也

「特選」

生き抜いた背中が拝む地藏尊 あきこ

囁目吟 たむらあきこ選

「前抜き」

枯れた顔して生臭い願い事 正

ご利益が雨を一時止めている 以呂波

傷ついた鳩に餌やる地藏尊 竜雄

川柳も隠れてしまう人いきれ 桃葉

ヒーローのようだブラジャーまで赤い 帆波

幸せになれる団子もありました ヨモギ

「佳作」

無信心お土産ばかり買いあさり 栄子

巢鴨には醤油の味が良く似合い 品子

無信心でもお焚上げしているな 栄子

若者はぶつかりながら行く巢鴨 栄子

常連を弾き出ししてるご縁日 以呂波

縁日の地藏通りで気を貰う 竜雄

とげ抜きで土産だけ買う無信心 利江

ばあちゃんの原宿ヤングより元気 利江

占い師心の棘を抜いてやる 団扇

地藏さまシワを伸ばして下さいな ヨモギ

死ぬ気などないのにポックリを祈願 正

心の棘を抜いてルンルン 倫也

高岩寺心の棘も抜いてくれ 利江

赤パンツ秘密結社でない様子 団扇

とげ抜き市の市から拾う江戸情緒 利江

「秀作」

巢鴨通り粹な日傘を杖がわり 和子

巢鴨発天国行きを予約する 倫也

シャッターを下ろし縁日拒絶する こいし

「特選」

団子屋のあおるけむりで買わされる 睦悟朗

軸 とげ抜き地藏尊あたりの人の味 あきこ

### 自由吟 句評会

名も知らぬ花が咲いてる多年草 栄子

葬儀屋が出来て入会急かされる 玉枝

衣と食の交換ほろ苦い戦後 桃葉

雨上がり犬と散歩のリフレッシュ 裕美

テレビで言ってたネットで書かれてた 帆波

谷根千は坂が多いと巢鴨行き くんじ

梅雨入りに備えお酒とビール買う 睦悟朗

化粧法電車の中で教えられ こいし

機内では咳とくしゃみはこらえます ヨモギ

髪を切る女の夢の落ちる音 あきこ

追いかけた夢を掴んだ夢を見た 以呂波

一日をみんな喋ってもう寝ます 品子

時代の空気を読めず倒産 倫也

へそ繰りを冷凍にして溶かさな 竜雄

チヨコパフェを苦み走った顔が食 団扇

父母の眠る丘まで息切らす 絵扇

自由席富士山見える側にする 正

ほたる祭り豆提灯も控え気味 和子

医療費の赤字にすまぬ医者通い 利江

前述のように、今回は時間の関係で、参加者の各句評をせず、帆波の鑑賞から意見を交換するにとどめました。

・テレビで言ってたネットで書かれてた

表記として一字明けを用いたほうがよいかどうか、句の形について検証しました。一字空けはしないという意見がありました。また、句箋への表記に「」などの記号を使うことは良くないという指導を受けた話がありました。

・梅雨入りに備えお酒とビール買う

「お酒とビール」とあえて表現した意味を作者にお聞きしました。夏場はビール、そうでないときはお酒、という晩酌のルール。しかし両方飲みたいという思い。そこでお酒とビールと違ったというお話でした。

・化粧法電車の中で教えられ

・自由席富士山見える側にする

この二作品は、日常風景の切り取りとしての川柳味はあるが、同想が多い印象を持つ方がおられました。

・時代の空気読めず倒産

例えば頭に「GM」とつければ、そのまま新聞の見出しのようになってしまう。十四字詩は短いだけに、その切れ味の良さと同時に、独立性・完結性というものも検証してみたい。

まとめ 松橋帆波